

令和 2 年度の活動について

□令和 2 年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会事業計画

平成 31 年 1 月、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第 5 条に基づき、令和元年度から令和 5 年度までを計画期間とする「第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画」を策定しました。

この計画は、まちづくりや観光施策とも連携し、明知鉄道を基軸とした公共交通ネットワークを改めて構築するため、前年度の実施事業の評価や必要に応じた見直しを行いながら、通学路線のルートやダイヤ・運賃の検証・改善や営業路線の改善・利用促進、日帰り旅コースの設置・運用を行うこととともに、その他の事業を進めるために必要となる地域・事業者との協議、実施内容の検討などを行うこととしております。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症の影響は、公共交通にも大きな影響を与えています。昨年比で見れば、明知鉄道は約 30,000 人（約 7.5%）、自主運行バス（恵那市）は約 16,000 人（約 9%）の利用者の減少がみられ、本協議会の取組みもコロナ禍においての取組みとなりました。

(1) 会議

会議名	主な内容
第 1 回協議会 (令和 2 年 5 月 27 日)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度事業報告並びに収支決算報告について 2. 令和 2 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について 3. 恵那市地域内フィーダー系統確保維持計画について 4. 明知鉄道生活交通改善事業計画について
第 2 回協議会 (書面開催)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域公共交通確保維持改善事業に関する評価について (陸上交通における地域内フィーダー系統)
第 3 回協議会 (令和 3 年 3 月 19 日)	<ol style="list-style-type: none"> 1. フォローアップ調査結果について 2. 令和 2 年度の活動について 3. 恵那市地域公共交通計画について 4. 第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画の一部改正について 5. 令和 3 年度活動方針(案)について

(2) 主な事業

事業名	内容等	
第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画の推進		
<p>【目標1】 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進</p>	<p>1. 公共交通を「活用」する市民の意識づくり</p>	<p>1. 観光列車やイベントでの市民による活動 ・モデル地域を1地域選定・協議 →・料理列車で明智駅に到着したお客を明智光秀等に扮したスタッフが出迎え、観光PRを実施(9月週末～)</p> <p>2. 地域イベントと連携した公共交通の活用 →・JRさわやかウォーキング(5月) ・大河ドラマ関係1～3月、酒蔵開き2月</p> <p>3. SLの復元を通じた地域づくり ・SL乗車等体験、SLファンクラブ拡大策実施 →・SL乗車体験等(4～11月259人) 今後の予定(乗車体験3/6、運転体験1/25) ・SLファンクラブ会員79人(11月末現在)</p> <p>4. 住民活動や高校生に使いやすく人が集う駅づくり ・地域・高校生へのニーズ調査、実施検討 →・中学生作成の明鉄新聞による魅力発信(9月～)</p>
	<p>2. 公共交通を「支える」市民の活動促進</p>	<p>1. 明知鉄道が有するさまざまな価値の発信 →・10/14 明智町乳幼児教室による列車の見送り(25人) ・年度内に地域及び地元高校生と懇談会を開催予定</p> <p>2. 沿線環境の整備 ・<u>地域住民による沿線環境(景観)整備・植樹</u> →・飯羽間駅周辺草刈(6月飯羽間4区) ・野志峠植栽周辺草刈(6月明智町壮健クラブ) ・山岡駅周辺草刈(6月山岡田沢壮健クラブ) ・野志峠植栽周辺草刈(7月OB会) ・阿木駅周辺草刈(7月阿木老人会) ・野志駅周辺草刈(8月明智町明知鉄道協力会) ・飯羽間駅周辺草刈(9月飯羽間4区) ・野志駅～山岡駅草刈(9月明智壮健クラブ) ・山岡駅周辺草刈(9月山岡田沢壮健クラブ) ・岩村駅～飯羽間駅草刈(10月岩村ライオンズクラブ) 山岡駅～花白温泉駅草刈(10月山岡ライオンズクラブ) ・野志駅周辺草刈(10月明智町役場OB会) ・恵那農高生による恵那駅舎の飾りつけ(9月) ・<u>明鉄連絡協議会による沿線景観整備</u> →・阿木駅内の既存樹木剪定、法面植樹を予定</p> <p>3. 収入源の拡大 ・各種定期券の発行検討 →・グリーン会員券PR 地域壮健クラブ総会 明智(7/7)</p> <p>4. モビリティマネジメントの推進 ・ふれあい列車運行、高校生ミーティング開催、高齢者団</p>

		<p>体への利用促進PR、バス時刻路線マップ作成</p> <p>→・中学生行事でふれあい列車の活用</p> <p>・高齢者外出支援のため交通チケットの交付</p> <p>・3Kサポート ①高齢者 ②高校生 ③観光客</p> <p>①公共交通利用促進の呼びかけ（福祉センター利用者、壮健クラブ等）</p> <p>①岩村デマンド交通のバス停5か所追加設置</p> <p>②恵那南・阿木高校生ミーティング（11・12月）</p> <p>③明知鉄道各駅の運賃表、路線図、バスルート案内、岩村駅看板を英語表記</p> <p>③標準的バス情報フォーマット（GTFS-JP）のデータ整備</p>
	3. バス運転手確保に向けた全市的な取り組み	<p>1. 職業紹介企業との連携による募集活動</p> <p>2. 資格取得の奨励策の調査・検討</p> <p>3. 有償運送等運転手の養成講座の開設</p> <p>→・有償運送等運転手の勉強会を開催（4～8月）</p>



（光秀等に扮した市民による観光客のお出迎え）



（SL乗車体験）

<p>【目標2】</p> <p>沿線への移住定住を促す地域公共交通ネットワークの形成</p>	<p>1. 地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成</p>	<p>1. 恵那駅周辺での循環線の新設</p> <p>・検討会の設置・検討</p> <p>→・法定協議会の下部組織に検討会設置5回</p> <p>2. 幹線と地域路線の見直し</p> <p>・地域路線（岩村・山岡）の検証と改善</p> <p>→・岩村地域路線利用促進協議会1回（検証と改善検討）</p> <p>・山岡よやく号運営検討会1回（検証と改善検討）</p> <p>・10/1 デマンド交通のバス停追加設置（岩村5か所）</p> <p>・「地域内フィーダー系統確保維持計画」に基づく事業の実施（上矢作地区のバス路線の運行とフォローアップ調査）</p> <p>→・上矢作町移動支援再検討会にて利用促進検討（6月）</p> <p>・利用者アンケート調査実施（11月）</p> <p>3. 明知鉄道の1時間1本化</p> <p>・課題抽出、具体策の検討</p> <p>→・準パターンダイヤへの検討</p>
--	----------------------------------	--

	2. バスによる通学 利用促進	1. 通学路線のルートやダイヤ、運賃の検証・改善 →・配車システムを活用した高校生の帰宅支援を検討 2. スクールバスの調査・活用 →・小中学校の送迎手段の適正化検討 3. <u>運賃のキャッシュレス化</u> ・ <u>動向調査、方策検討</u>
	3. 地域によるバス 運営の展開	1. 自主運行バス運営方針の遵守 ・収支率に基づく路線の見直し検討 2. 地域検討会の開催 ・路線見直し基準・路線再編に伴い随時開催 →・笠置町3回（ボランティア移送検討への助言） ・岩村町1回（利用促進策の検討、運行の検証） ・山岡町1回（利用促進策の検討、運行の検証） ・上矢作町3回（路線の見直し提案と検討、乗車体験） 3. 地域移送サービスの発展支援
	4. 快適な公共交通 利用環境の整備	1. 施設の更新 明知鉄道 →・防護設備 法面固定、線路側溝 ・線路設備 橋りょう改修、レール更新、マクラギ交換 ・保安通信設備 ケーブル取替 ・車両全般検査 1両 2. P & R、サイクルトレインの推進 ・駅前駐車場P R・サイクルトレイン拡大検討 →・チャリンコ列車（4～11月） 3. <u>鉄道・バス共通1日乗車券の販売</u> ・ <u>事業者間調整、販売</u>
	5. 関係者との連携 強化	1. 恵那峡線・蛭川線・中津川線・明智線の改善・利用促進 2. 隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実 ・隣接自治体の地域公共交通会議での協議 →・「中津川線」「蛭川線」の廃止代替路線の協議（11月）

【目標3】域外から 来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1. M a a S を意識した観光資源を結びつける取り組み	1. 運賃のキャッシュレス化 2. <u>路線検索システムの構築</u> ・標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）のデータ整備、オープンデータ化 ・コンテンツプロバイダーへの掲載（Google 他） →・GTFS-JPデータ整備完了 3. 日帰り旅コースの設置・運用
	2. バリアフリー化を通じたサービスアップ（現状維持から発展へ）	1. 駅舎などのバリアフリー化 2. ボランティア車掌の創設 3. 外国語案内・バス系統番号の表示 →・主要駅ホーム英語表記案内看板の整備

3. 観光列車の推進	<p>1. 観光列車と広報・周知の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理列車運行、孫とおでかけふれあい列車運行、ウォーキングイベントとの連携開催 →・4～9月 寒天列車 549人 →・9～11月 きのこ列車 2,438人 →・9月 栢酒列車 63人 →・12～3月 じねんじょ列車 2,300人見込み →・チャリンコ列車（4～11月、月1回開催） →・恵那水曜歩こう会スローウォーキング（4～12月、月1回開催） →・沿線ウォーキング（4～12月、月1回開催） →・メモリアルマーチ（11/3、200人） <p>2. 観光列車やイベントでの市民による活動</p>
その他	<p>1. 貨客混載による収入源の拡大</p> <p>2. 自主運行バス 定期券・回数券販売所の共通化</p> <p>3. 自主運行バス 定期券の種類を増やす</p>